

轉教

2

2019
February

信のとびら

助行について

2月のご奉公のすすめ

2月のお寺の行事予定

12月のご奉公目誌

くんげ会・蓮華会合同御講

男性信徒会が発足

新年のご挨拶・年末のご挨拶

2019年の担当教務のご紹介

参詣将引コーナー

参詣将引のすすめ 金長泉説師

私によるこび

旅路の果てに

ご祈願の大切さ

後続者育成活動報告

家族の絆Q&A

何をしにお寺に行っているのか？ その3



佛立本旨講妙應寺

助行について

■助行と正行

来年度の弘通方針は「助行」がテーマです。今回はその事について書きます。

助行は、正行しょうぎょうに対する言葉です。正行とは成仏の道そのもので、助行は正行を補助して強化するものです。法で言えば正行はお題目口唱です。助行は「如説修行抄」の拝読やご法門聴

聞です。成仏をする為の修行を全うさせるための補助です。

ご奉公者に例えて言えば、御祈願する本人が正行者で、お題目を一緒に唱えたり怠りを正すためにアドバースしたり励ましたりしてくれる人が助行者です。

■信心の知恵

少し信心を知りはじめる

と、助行を喜ばない、分かっていから一人でも大丈夫だと、慢心してしまう人もいます。それは思い上がりというものです。これから何が起こるかわかりません。まさに一寸先は闇です。我々は、非常の時には何をおいても助行してください。お付き合いしておきたいも



のです。それが、信心の知恵です。

助行する人も、いい気になって恩に着せるような態度や言葉が出るようではダメです。先方の事情をよく見極めて、その人の心に添い信心増進の力になれるように配慮することが大事です。助行先での対応次第で、相手の信心を良くもするし悪くもしてしまいます。

■その一言が

子供に自転車の乗り方を教える際に、子供の友達の親に「補助輪を付けてるのはあなただけよ。運動神経鈍いんじゃないの？　うち

の子は三日で補助輪外したわよ」と言われ、プールに行った時も、「うちの子は平気で泳げるのにあなたの子はすぐ水から上がってしまつて、やる気がないのね」と言われた人がいるそうです。子供は意気消沈して、やる気をなくしてしまいました。

■大切なのは励まし

もし、その友達の親が、「大丈夫、すぐ自転車、乗れるようになるわよ」「すぐ泳げるようになるから頑張ろう」と励ましてくれたらどんなによかっただろうにと、思いませんか？

助行には、励ましの言葉が大切です。軽蔑したり皮肉たつぷりな言葉では、信心を伝える折伏にはなりません。逆効果になりかねません。

助行するには、具体的な方針を定めて皆で協力したいものです。ひとつの方針を定めても、一人だけでやりきるのは意外と難しいものです。みんなの気持ちを一とつにするためにはどうしたらいいか、互いに理解を深める効果的なやり方を模索（もさく）しましょう。

2月のご奉公のすすめ

本年度の弘通テーマ「参詣将引」

2月16日はお祖師様のお生まれになった日です。御降誕当日には、赤飯をお上げし家族でもお祝いさせて頂きましよう。お祖師様のお生まれになった時の不思議な兆しや我が家のご利益など、お祖師様への感謝を家族で話しお寺参詣を勧めましよう。

今月の「随喜轉教」

お寺では受験生の応援のための「受験助行」を行っています。受験生を抱えるお宅の応援祈願の申し出を受けて、積極的に祈願の応援をさせて頂きましよう。応援祈願は受験生にとってどんなに心強いか計り知れません。必ずや実力発揮させて頂けます。是非その旨を蓮華会委員や教区班長に相談してください。

来月の「ご奉公のポイント」

一、れんげまつり

3月10日(日) 午前10時半より本堂にて、高祖大士御命日総講に併せ、れんげまつりを開催します。

日蓮聖人物語第二話のスライドと、富坂警察署とみさかけいさつしよにお願いし、振り込め詐欺について実例と防止策についてお話しして頂きます。若い人も年配者にも積極的にれんげまつ

りの参詣をすすめてください。

二、春季彼岸総回向

「両親祖父母は命をくれた大恩人」です。家族の幸せを願う私達は、先祖の回向を大切にしたいものです。

春の彼岸総回向は、春分の日3月21日(木祝)、本堂では午前10時から、事教院六角堂では12時30分から奉修されます。

家族でよく話し合っけて皆でお参詣させて頂きましよう。

三、三島聞泉寺回参

3月24日(日) は三島聞泉寺への門租会回参、当番参詣は第一地区です。同志寺院のご弘通発展支援の為、大勢でお参詣させて頂きましよう。他地区の方々にも声をかけ応援参詣を勧めてください。



2月のお寺の行事予定

日	程	行	事	時刻
1日～7日		開講本旨再興祈願朝参詣週間		
1日	金	開講本旨再興祈願総講		10時半
2日	土	運営会議		9時半
		財務委員会		10時半
3日	日	開講本旨再興祈願口唱会（担当；第1地区、文教）		9時半
		若い人の口唱会		10時半
4日	月	信徒講習会①		9時半
5日	火	寒参詣終了（御礼参詣）		
6日	水	門祖会奉修費、御供米料、お花料、参詣人数報告 締切		
9日	土	連合幹事会		9時半
		後続者育成連絡会		10時半
		評議委員会		11時
10日	日	高祖御降誕会総講（高祖大士御命日総講に併修）		10時半
		門祖会無事奉修祈願朝参詣週間		
15日	金	佛立本旨講創立記念式典 申込〆切		
16日	土	門祖会全体会議及び準備ご奉公		9時
17日	日	門祖会（開導聖人御命日総講に併修）		① 10時 ② 11時半
23日	土	信徒講習会②		9時半
24日	日	信徒講習会③		9時半
25日	月	正副教区長会		9時半
28日	木	平成31年度地区・連合・教区・事務局役員申請締切日 春季彼岸総回向御塔婆申込締切		

12月のご奉公日誌

ロケットを飛ばした 合同御講

蓮華会・くんげ会補事
Iさん

12月2日のくんげ会・蓮華会合同御講ではストローロケットを作製しました。ストローロケットは二本の径が大小異なるストローを吹き矢のようにし、矢になるストローの方にそれぞれ個性が活かされたデザイン紙を羽にして飛ばすものです。大人も子供もみんなステキなデザインのロケットを作っていました。そのロケットを使って二つのチームに別れて行ったリレーや枠わくの中にロケットを入れ、数を競うゲームでは小さい子供達から大人ま

男性信徒会が発足

総務部主管 鮫島清

12月23日(日)に妙應寺初の男性信徒会御講を57名の男性が願主となり奉修させて頂きました。お看経後のご披露では初の試みとして、願主のお名前をスクリーンに映し、起立して皆さんに紹介させて頂きました。初顔合わせの人やお名前は知っていたが顔

を見たのは初めてという方々にはとても好評でした。御講奉修後は和食レストランで懇親会を行い、今まで接しなかったことがない信者仲間との交流の輪が広がりました。今回の成功を受けて、男性信徒の集まりを「男性信徒会」

として「蓮華会・くんげ会」同様に寺内の正式な会として発足させ、活動を行う予定です。

活動内容は後日お知らせいたしますが、第二回目の男性信徒会御講は来年12月22日(日)に予定しています。今回以上に多くの願主にご参加いただきたいので、男性信者の将引をよろしくお願い致します。





で三世代にわたってみんな
で楽しくゲームを行いました。
た。
今では蓮華会補事をさせ
て頂き、参加する立場から
企画する立場になりました。
た。多くの方々の御奉公の
お陰で合同御講が成り立っ
ていることを知りました。
これからも合同御講が信
行相続や同世代の仲間を作
るきっかけになることを
願っています。

1日～7日	「開講本旨再興祈願 朝参詣週間」
1日(土)	開講本旨再興祈願総講を午前10時半より奉修
〃	運営会議を午前9時半より開催
〃	門祖会本部会議を午後1時半より開催
2日(日)	蓮華会・くんげ会合同御講を午前9時半より奉修
8日(土)	連合幹事会を午前9時半より開催
〃	後継者育成連絡会を午前10時半より開催
9日(日)	開講本旨再興祈願口唱会を午前9時半より奉修 担当=事務局
〃	若い人の口唱会を午前10時半より奉修
〃	男性信徒御講参詣申し込み締切
13日(木)	高祖大士御命日総講を午前10時半より奉修
17日(月)	開導聖人御命日総講を午前10時半より奉修
23日(日)	男性信徒御講を午前10時半より奉修
25日(火)	門祖聖人御命日総講を午前10時半より奉修
〃	正副教区長会を午後12時半より開催
〃	教講ご奉公納め
25日～31日	年末御礼朝参詣
26日(水)	御炭代・お鏡餅料奉納締切
31日(月)	元旦会・初御看経・初総講準備ご奉公を午前10時より開催
〃	年末御礼参詣を午後4時より奉修

六角堂は私たちの原点

住職 水谷 日在



願をかけて乗り越えます」という心得を忘れてしまいません。

さて、この世での御奉公の苦難をもとめせずに寂光参拝の手本を示してくださいだったのは日尚上人です。

六角堂初御看経を機に、日尚上人に御挨拶申し上げ、様々な苦難に負けずに寂光参拝をめざす目的を思い出しましょう。



本日は、日尚上人御霊廟としての六角堂の存在意義を改めて見つめ直してみたいと思います。

我々信者が信心修行に励むのは寂光参拝させていただくためです。寂光参拝という目的があればこそ、この一生の生老病死等の様々な苦しみをむしろ罪障消滅するチャンスと捉え、積極的に乗り越えることが出来るのです。

寂光参拝という目的を忘

れると、目の前の出来事に

一喜一憂し、愚痴をこぼし疑

い迷いを起こして、消極的な

気分から抜け出せなくなり、

「どんな問題も御宝前にご祈

日尚上人御十七回忌

副住職 水谷随欽師



平成15年4月23日、日尚上人は眠るように80歳の生涯を閉じました。思い返せば平成3年以来、京都で経験した宗門の不祥事は、日尚上人に

とって過酷に過ぎるものでした。胃に穴があくほどの心労と闘いながらも10数年頑張れたのは、本山を去る時に言上した「開講本旨再興の誓い」

新春のごあいさつから

を思い続けた精神力のなせる業わざでしよう。

その、日尚上人の思い百年の後世に伝え残そうと、同志寺院の協力を得て平成18年に佛立本旨講創立式を盛大に挙行することが出来ました。

本年は、日尚上人御十七回忌を迎え法要を2日間に別け

て行います。六角堂では、4

月21日11時半より法要を行

ます。4月20日、本堂で10時

半から御十七回忌法要を行

その後、信徒一同の結束を固

める為、記念式典を池袋イ

ントホールにて行います。時

間は12時半から15時の予定

です。参加費用は、多くの方が

お助行促進

根緒泉溪師



本年のご奉公方針は「お助行」です。今日はこのご奉公についてご披露させて頂きま

す。お助行のお席では、いろいろな信者と交わって対話をする

や、信心を前進させるきつかけが頂けます。

このお助行のご奉公に参加

して、喜びを見出せば、人の

苦難を救う菩薩行の喜びを体

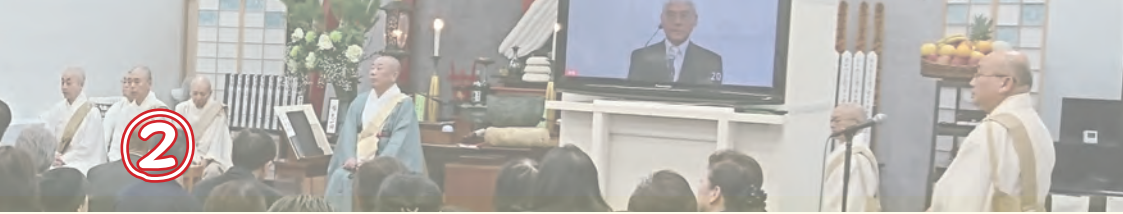
験することが出来て、共に信

心の喜びを分かち合うことが

出来るのです。

又、今年は開講本旨再興日尚上人の御十七回忌の年をお迎えますが、このお助行のご奉公を通じて、信心の喜びが、連合や教区、そして妙應寺全体に広がってゆくよう、報恩ご奉公に励ませて頂きま

しょう。



初燈明料と本堂護持御有志

神野照報師

4
(金)

■三宝護持

仏立本旨講初灯明料奉納と本堂護持の御有志奉納について、ご披露させて頂きます。

さて、ご有志は三宝護持さんぼうごじの一つで、本堂護持や御弘通を財で支える尊い御奉公です。

■惜しむ心に打ち勝って

しかし、私たちには惜しむ心が邪魔をする罪障があります。その惜しむ心を打ち破り、物欲にまつわる罪や苦しみを捨てる修行こそ御有志奉納です。この財のご奉公は、我が身に財の功德をもたらす種蒔たねまききとなるのですから、喜んでさせて頂いてください。

■ある御信者さんは…

あるご信者さんからは、毎月の収入の中からお初穂をとり功德箱には初灯明料、お賽銭箱には御有志料と決めて、家族にも協力してもらいながら積んでいけると、無理なくご有志が出来る、そのお陰で家族も風邪一つ引かず、元気に一年を過ごす事が出来ました。との喜びの報告がありました。

■功德箱の活用を

特に初灯明料は一度に多額の奉納をする事は難しいものです。功德箱を上手に使って、惜しむ心に打ち勝ち、喜んで

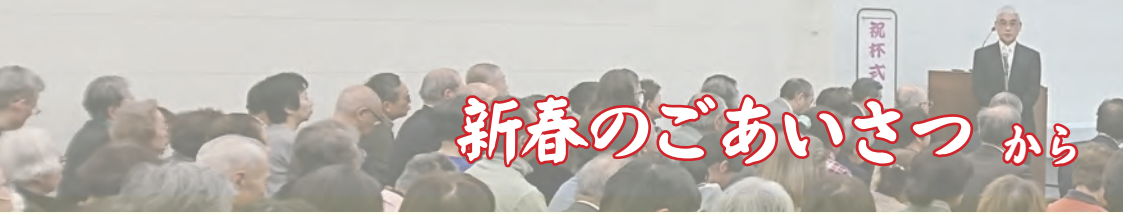
奉納させて頂きましょう。

■御有志の使途は

この皆様の尊い御有志は、本堂建立費、本堂の維持、修繕費、御弘通諸経費等の充実に計り、物心両面に亘って妙法を弘め、御弘通を支える基金となるのですから功德甚大くどくじんたいです。

■日尚上人への感謝を込めて

正しい信心に導いてくださった日尚上人に感謝の思いを込めて、信徒一同志厚く御有志奉納に気張らせて頂きましょう。



新春のごあいさつから

明治35年以來の寒参詣

糠谷信章師



■一年の計は寒参詣にあり

「一年の計は寒参詣によって自ら
で、この寒参詣によって自らの
の信心を鍛え、御弘通御奉公
の成就を願ひましょう。」

■百年続く伝統

明治35年以來続く寒参詣で
すから、もう百年を超える伝
統があります。百年続いたも
のを百年後にも伝えたいもの
です。

■厳寒の佐渡で

それには、この厳しい寒さ
にこそ佐渡ヶ島で開目抄、観
心本尊抄、如説修行抄等を書
き残し後世への妙法伝承を願
われたお祖師様への報恩の思

いを持つことです。

■子々孫々への記憶を

厳しい寒さに負けずに参詣
する姿が、きつと子孫の記憶
に残り、信行相続につながる
ことでしょう。

本旨講百年の計である、子
孫への信行相続を願う事や、
子や孫に祈願をかけさせる
事、或いは応援祈願の協力や
祈願成就を、寒参詣に気合を
入れて励ませて頂けば、必ず
御宝前からお力添えが頂ける
のです。

■寒参詣の御利益

実際、寒参詣に気張ること
によって、以前から腰の具合

が悪く動作も不自由であった
のが、皆参することによって
全快した、等の話を聞きます。
ですから寒参詣は、寒いも眠
いも言ってはおられないと
決定けつじょうするからこそ、尊い功德、
御利益を生み出す土俵ともい
えるのです。

開導聖人は、「冬の寒い夜、
ねむたきと、起きにくきは誰
も同じ。心一つの置き所にて、
ねむたきに勝つと起きにくき
に負けるとのあやなり」とお
教え下されてございます。

へわが祖師の御悦を信ずれば
実りのために

身をおしむかは

一年を振り返って

年末のご挨拶より

根緒泉漢師



本年は、家族が協力して、お寺参詣を盛んにする事を中心に、次の世代の方々に、本旨講の御信心を伝え遺してゆくという、御弘通の方針のもと、ご奉公が始まりました。

仕事のを都合をつけてもらい、又、予定を組んでくれて、5月には家族全員4人でお寺参詣が成就して、家族中の喜びとなりました。

また、昨年からお寺でも奉修されることになり、これによって、娘さんご夫婦が、御講というのは、どうゆう事をするのか、分かりましたと、これからお寺でのお講には必ずお参詣したいと随喜されておりました。明年も出来るだけ、奉修時間や曜日なども工夫して、若い方々や、初めてお参詣したという方が増えてゆくように、励んで頂きたいのであります。

さて明年は、開講本旨再興、日尚上人の御十七回忌の年をお迎えいたしますが、次の世代の方々に佛立本旨講の御信心を、遺してゆく事を柱にして、報恩ご奉公に励ませて頂くという事。又、日尚上人からご教導を頂いた、菩薩行の心をしっかりと頂いて、人の幸せを願う、人の苦しみを消滅させてゆくという、更なる菩薩の心を高揚させて、充実した報恩ご奉公の年となるよう励ませて頂きましょう。

十七回忌を機により結束を

水谷日在導師

今年の日尚上人の十七回忌の年です。格別の思いでご奉公にあたって下さい。早いもので16年も経ったわけです。直接、日尚上人のご教導をいただいできた私たちが、奮起して後世に残すという結束大会を行います。

4月20日(土)の法要のあと、決起大会を開催します。是非皆さんのご参加をいただきたいと思います。

ご法門に先立ち、下記の受け持ち御講師のご紹介をいただきました。

第二地区					第一地区			
杉並	多摩	かながわ	品川	目黒世田谷	千葉	都中央	渋谷港	連合
杉並 なかの みたか	多摩	かながわ かながわ 北	品川 大井 大森	目黒 世田谷	千葉 中央 富里	都 中里	渋谷・港	教区
根上信浄師	佐藤応昇師		糠谷信章師	座間随祥師	水谷随欽師	根緒泉溪師	水谷随欽師	受持御講師

										第三地区										
										特別教区		西部	豊島							
妙証会	東北 方面	北陸	福岡	広島	岡山	大阪・鳥取	名古屋	長野	小田原	埼玉東	水戸	栃木	北海道中央	所沢	練馬	入間	板橋	川越	豊島	
糠谷信章師	水谷随欽師	水谷随欽師	水谷随欽師	佐藤応昇師	神野照報師	座間随祥師	糠谷信章師	糠谷信章師	根上信浄師	根上信浄師	根緒泉溪師	神野照報師	根緒泉溪師	神野照報師	根緒泉溪師	根緒泉溪師	根緒泉溪師	根緒泉溪師	根緒泉溪師	根緒泉溪師

2019年受持御講師一覽

参詣将引のすすめ

金長泉説師

大病を患った娘さん

これはあるご信者のお話ですが、生まれた娘の心臓に穴があいて、成長する間にふさがらないと手術をしなければなりません。

百日参詣のご利益

「親の私たち夫婦は、上の子と連れ立ってお寺参詣百日を決意し祈りました。来る日も来る日も早朝に起きてお寺に行くのが、やがて習慣になり、家族の一体感の幸せ有難さをかみしめました。百日参詣のあと娘の心臓の穴がふさがっているという検査結果が出る

ご利益を頂きました」

お寺参詣の功德は

日尚上人は、「参詣は迷う心の道しるべ」と仰せの様に、お寺参詣は、私たちの行くべき道、正しい道、幸せになるべき道を教えてくださっているのです。その功德は、健康のお計らいや不慮の災難をのがれる事が出来、わが運命を

根本的に良い方向へ好転させていただけなのです。

このご利益を

多くの人に伝えたい

お互い御信者は、お寺参詣の功德の尊いことを伝え、家族連れで、参詣に励むことが大切です。



後継者育成 お助行よい

大井大森教区 Wさん

三ツ池公園の前で

11月23日（金祝日）第2地区品川連合、大井大森教区、Hさん宅で後継者育成助行と、年末お塵払いをさせて頂きました。

一人暮らしのHさんは、昨年10月に横浜鶴見区に転居され、12月24日に小御本尊を奉安と同時に大井大森教区に所属され一年になります。マンシヨンの目の前に、地元では有名な「三ツ池公園」（写真下）があり、春は桜、秋は紅葉、緑豊かな環境で、植物が好きで、Hさんはそんなところが気に入ったそうです。玄関やお部屋にも植物を置いて大切に育て、部屋を明るくされています。毎月の御披露当番ご奉公

では、始発バスでお参詣されています。

コツコツと積まれる功德

平日はお仕事なので、土日御講席やお寺の行事があればお誘いすると、素直にお参詣され、御講席でもすぐに打ち解けて馴染んでいらつしやいます。

お給料の中から、お初を取り、毎月のご弘通費、ご有志乙御講のお布施等もきちんとされ、お母様の月命日にはお塔婆を上げ、身体健全や無事勤務成就の御礼をされる等、コツコツと功德を積まれています。若いのに本当に偉いなおもいました。

亡き母親に見守られて

その日は残念ながらお参詣

者は少なかつたのですがSさん、Kさんのお陰で良いお看経が上がり充実したお助行になりありがたかったです。御宝前の下に飾られているお母様のお写真が笑顔で輝いていました。



旅路の果てに

妙証会 Kさん

二度の交通事故

私は、生涯で二度の交通事故に遭いました。一度目は、平成と年号が改められた翌年のことです。車に引かれ、救急搬送されました。軽傷ですみましたが、検査ため入院しました。明日は、御講のお迎えご奉公があるので気にかかり、大事に至ってないと自己判断して、あくる日の朝に、無断で病院を抜け出してしまいました。御講が終わって、病院に戻りましたが、再入院は断られてしまいました。そ

して一年後、また、交通事故に遭ってしまいました。今度は、大事故でしたが、お計らいを頂いて、九死に一生を得ることが出来ました。事故の後遺症は多少のこりでしたが、半年後、お寺で御講師のお食事の賄をさせて頂きました。

退職後の第二の人生は

それから五年後、お寺が白金に移転すると共に退職することになりました。退職後は、毎日、お寺や自宅で一万遍口唱に精進しました。一年が過

ぎた頃、私がお寺で一万遍口唱に励んでいる姿を見た日尚上人が朝礼でよろこんで話していたと、ある御講師からお聞きし、ありがたく思いました。毎日させて頂く一万遍口唱を始めてから瞬く間に数年が経ち、更に、月日が流れてゆく中で、東日本大震災を経験し、そして、養母の帰寂。

後期高齢者になっても

私も後期高齢者となり、体調を崩すこともあります。御宝前に守られて、御題目口に精進させていただいておられます。本당にご信心にお出会ってきたことだけでありがたく、何の不足もありません。

私のよろこび

ご祈願の大切さ

長野教区 Tさん

これまでも沢山の御利益

私は、今までご祈願により

様々なご利益を頂いてまいりました。先日、も轉教を見た際、ご祈願をするとしないうちは、信心の力の入れ方に差がついてきますと言う文面を見て、なるほどと感じました。

しっかりと準備を

月末になると御祈願を上げさせて頂くと思うのですが、祈願カードがなかったりして、つい先送りになりがちです。しっかりと準備をしておかなければいけないと思

ました。

信行相続のため

今の私の目標は子供たちへの信行相続ですが何不自由なく生活している息子達には、信行の大切さは、中々理解されず、あまり協力的ではありません。今は息子達も家庭をもち仕事も頑張つて家族を支えています。親として我が子の無事養育成長の御祈願をかけることから、少しずつ目標をもつて、ご祈願をかけていくことから始めて行くように教えたいと思います。

日尚上人御十七回忌法要 佛立本旨講創立記念式典のご案内

日時 2019年4月20日

10時半より12時頃まで、本堂にて法要を執り行います。

法要後、順次現地へ移動します。巢鴨(JR)池袋(徒歩約8分)会場

開場 12時15分

開宴 12時45分～2時45分

場所 池袋・アカデミーホール

楽しい企画も立てております。

東京都豊島区東池袋1-30-6

セイコーサンシャインビル地下1F・2F

1月3日 初総講より

事務局局長 年頭のご挨拶

山本久男

新年明けましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました。

本堂の大規模修繕も終了し、諸行事も滞りなく奉修させていただきました。

本年は日尚上人報恩ご奉公の年です、四月に御十七回忌法要を奉修させていただきます。なぜ、佛立本旨講創立をさせていただいたかを、確認させていただきたく、「佛立本旨講創立記念式典」も合わせて実施させていただきます。ご奉公よろしくお願います。

本日は初お総講祝杯式にお参詣頂きましてありがとうございます。



轉教

平成 31 年 2 月 1 日発行 第 20 卷第 2 号 通算 228 号

編集兼発行人 山本 久男

発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺

〒 113-0021 東京都文京区本駒込 6-6-11

TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



info@myooji.com

題 字：水谷日尚上人